

全紙で取り組む地域と一体となった古紙リサイクルの推進

名古屋リサイクル推進協議会

名古屋市「ごみ非常事態宣言」発令により 関係団体と協力して推進 地域の資源回収の活性化に寄与

- 実施期間
1999年3月～
- 実施地域
愛知県名古屋市全域
- 活動概要

名古屋リサイクル推進協議会は、1999年2月、名古屋市「ごみ非常事態宣言」発令を受けて、同年3月に設立され、古紙リサイクルに取り組むために在名新聞各社、各系統新聞販売所、製紙会社、古紙回収業者、市民団体などに働きかけ、学区協議会方式回収システムを構築、その拡大推進に取り組む活動を率先して取り組んできた。

新聞販売所は学区連絡協議会への働きかけや他の回収方法との調整のほか、告知チラシを無料作成・配布し、回収を呼びかけている。

2009年の回収量は、新聞2万2,793トン、雑誌9万915トン、その他6,251トンの計3万8,959トンを回収するなど、活動開始直後より増加している。

*

名古屋リサイクル推進協議会＝中日新聞社、中日新聞販売所約270店などで組織。澤田常雄（さわだ・つねお）代表。

名古屋リサイクル推進協議会 活動の歩み

1. 名古屋リサイクル推進協議会設立の経緯

平成11年1月25日、名古屋市は名古屋港西1区にある藤前干潟を次期ごみ埋立て処分場とする計画を断念した。その理由は藤前干潟が渡り鳥の飛来地だったため自然環境を保全することだった。当時、ごみの処分については、旧南陽工場が操業を停止し、愛岐処分場が2年後には満杯になる、という状況で、焼却・埋立ての両面で限界に直面していた。

そこで、同年2月18日、名古屋市は松原武久市長のもと「ごみ非常事態宣言」を発令した。この中で、平成10年度当時のごみ量114万トンから20万トン減量する目標が掲げられた。そのごみ減量の主たる方法は、リサイクルの推進であった。

その一方、当時の家庭から排出される古紙の量は、新聞8万1千トン、雑誌2万3千トン、段ボール2万1千トン、総計12万5千トン、と推計され、そのうち40%の4万7千トンしか資源回収されておらず、残りの60%はごみとして処理されていた。この実態を鑑みて、ごみ減量20万トン達成のためには、古紙リサイクルはどうしても取り組まねばならない施策の1つとみられていた。

このような社会状況の中、平成11年3月18日、中日新聞社と名古屋市内の中日新聞販売店は折込広告会社にも呼びかけて、古紙リサイクルに取り組むために「名古屋リサイクル推進協議会」（以下、当会という）を組織した。

2. リサイクルステーションの開催の告知チラシの作成と折込み配布

当会発足後の翌4月には、まずすぐにできることから取り組んだ。それは、リサイクルステーションの開催告知の支援である。リサイクルステーションとは、家庭から排出される新聞古紙を含む11品目の資源をリサイクルのために回収する拠点のことである。この回収活動は、企業スポンサーと回収業者の協力および行政の補助金で中部リサイクル運動市民の会（特定非営利活動法人）が平成3年から行っていたが、その活動の認知度は低かった。そこで、当会は拠点会場ごとに無償でチラシを作成して各会場周辺に1万枚を中日新聞に折り込んで地域住民へ周知徹底を図った。その結果、前年同月対比で3倍から8倍の回収量を記録し、中日新聞の告知力の高さを示すこととなった。会場数も当時は20会場だったが、現在は45会場、総計34万枚のチラシを配布している。

学区協議会方式による集団資源回収の実施

集団資源回収の活性化を図るための協議を重ねた結果、地域の特性を生かした学区協議会方式が生まれた。

これは、小学校下単位で町内会長などで組織する学区連絡協議会と新聞販売店古紙回収業者が緊密に連携をとり、拠点もしくは戸別の回収を行う方法。回収エリアの均等化と効率化が図られ回収量の増加に大きく寄与した。販売店は協議会への働きかけや他の回収方法との調整、告知チラシの作成・配布が役割。そのために、平成11年8月に「なごや古紙リサイクル協議会」を発足させ、翌年4月からスタートしている。

告知チラシ

地球も私も心地よく始めよう！エコライフ

環境にやさしいものを選びましょう

リサイクルステーションを利用しましょう

大事に使いましょ

レジ袋などは断りましょう

ゆずりましょう！

エコライフのすすめ

このチラシは名古屋リサイクル推進協議会（中日新聞販売店の皆さん等）のご協力により、無料で配布、回収していただいております。

リサイクルステーションは、市民・企業・行政の協力により市民とNPO（市民団体）で運営しています！！

※回収のお願い：このチラシは名古屋リサイクル推進協議会（中日新聞販売店の皆さん等）のご協力により、無料で配布、回収していただいております。

※回収のお願い：このチラシは名古屋リサイクル推進協議会（中日新聞販売店の皆さん等）のご協力により、無料で配布、回収していただいております。

リサイクルステーション

中部リサイクル運動市民の会
052-339-5541

※回収のお願い：このチラシは名古屋リサイクル推進協議会（中日新聞販売店の皆さん等）のご協力により、無料で配布、回収していただいております。

資源回収をする品目と出し方

①新聞 ②折込みチラシ ③段ボール、紙パック、書籍、マンガ本、ボール紙、封筒など ④牛乳パック

※回収のお願い：このチラシは名古屋リサイクル推進協議会（中日新聞販売店の皆さん等）のご協力により、無料で配布、回収していただいております。

今月の古紙回収日

3/7(日)

収集場所：びん・缶を回収する場所
当日午前6:00～8:30までに指定の場所へ

※回収のお願い：このチラシは名古屋リサイクル推進協議会（中日新聞販売店の皆さん等）のご協力により、無料で配布、回収していただいております。

作業状況



各地域の方は、決められた日の朝、古紙等の資源をステーション（町内で決められた場所＝ステーション方式の場合）に持って行きます。

集積された古紙等の資源は、担当の組合員（回収業者）が回収します。

回収された古紙等の資源は、古紙問屋へ運び込まれます。

古紙問屋へ運び込まれた古紙等の資源は、選別・梱包・加工され、製紙メーカー等へ出荷されます。

回収実績の推移（単位：トン）

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
新聞	12,297.3	22,708.9	25,813.1	27,409.7	28,134.9	29,180.5	28,534.4	27,864.1	25,680.9	22,793.6
雑誌	5,964.0	10,628.1	11,313.0	11,554.9	11,541.1	11,394.1	11,474.5	11,747.0	11,083.8	9,915.5
段ボール	2,605.3	5,056.3	5,755.0	5,989.5	5,814.0	5,840.2	5,768.4	5,752.0	5,498.2	5,255.9
牛乳パック	88.8	138.9	141.2	141.1	136.7	122.5	114.9	115.2	109.0	98.3
古着	968.1	1,523.0	1,657.8	1,600.8	1,578.4	1,504.1	1,463.7	1,491.5	1,233.2	894.5
アルミ缶	2.5	2.0	2.1	1.6	1.4	1.6	2.1	2.2	2.1	1.6
合計	21,926.0	40,057.2	44,682.2	46,697.6	47,206.5	48,043.0	47,358.0	46,972.0	43,607.3	38,959.4
学区数	114学区	140学区	148学区	160学区	165学区	168学区	169学区	171学区	173学区	171学区

古紙回収中



葬儀案内、小中学校報の無料製作と折込 ～町の情報ステーションを目指して～

有限会社坂本ニュース販売 代表 伊藤 隆

年間約80件にのぼる葬儀案内などの無料製作 地域住民へ情報提供する 地域に根差した活動

●実施期間

1988年11月～

●実施地域

岐阜県中津川市坂本地区

●活動概要

有限会社坂本ニュース販売代表の伊藤隆さんは、岐阜県中津川市坂本地区で1988年11月から、住民同士のつながりが密接な地域の役に立とうと、いつでも掲載を受け付ける態勢で年間約80件の葬儀案内の無料製作、折り込み活動を行っている。これは同地区でお亡くなりになる方の90数パーセントにあたる。

また、2年前からは近隣の販売店とも協力して、メールでのお悔やみ情報やごみ収集日、休日診療所などをお知らせする無料サービスも始めている。このほか、9年前からは、荒れた中学校を何とかしたいという思いから、学校の出来事を知らせるミニコミ紙「School Bus」を創刊、無料印刷、折り込みを行っている。

このような地域に根付いた活動は地元ロータリークラブから地域貢献の表彰を受けた。

*

伊藤隆（いとう・たかし）

携帯で地域情報ゲット!!
無料配信!!
地域情報メール配信サービス
恵峰Cネット
会員1000人突破!
恵峰Cネットとは、恵峰ホームニュースとこの地区の中日新聞販売店が共同で地域の皆様に役立つ情報を、携帯電話にメールで配信するサービスです。

本サービスをご利用頂くには、会員登録が必要となります。当サービスのお得性は、1歳以上2歳未満まで、登録・月額利用料無料です。この期間のお得性が無くなり、またはメールを使用していない場合でも、ご家族の方ならご登録OKです。また、PCメールでの登録も可能です。
※登録されている方も登録料が100円、一部機能の制限があります。

会員登録
1. 下記QRコードより
登録メールを送信。
会員登録QRコード
※QRコードの読み取りが可能な場合は
88823262@passmail.ne.jp にメールを送信
2. 仮登録完了メールが届きます。
※仮登録完了メールが届かない場合は
「仮登録確認」画面から仮登録の完了を確認してください。
※仮登録の期限は3日間です。期限が経過すると仮登録は無効となります。
3. 画面の指示に従って本登録。
※本登録の完了は、会員登録の完了が完了です。
※本登録の完了後は、仮登録の期間が延長されます。
※本登録の完了後は、仮登録の期間が延長されます。
※本登録の完了後は、仮登録の期間が延長されます。

配信内容
お悔やみ情報
恵峰HN予告
チラシ情報
地域の情報
出版物情報
チケット情報
クーポン情報
★上記一覧の中からお好みの情報だけを選んで受信いただけます。
左の方法で難しい方は、該当携帯電話から、下記へ
氏名・住所・連絡先（電話番号）を明記の上
「Cネット登録希望」としてメールを送信して下さい。
当方にて登録します。登録不可の場合は連絡してお問い合わせ
（チラシは完全登録にのみ対応いたしますが、仮登録でも可です。）
★簡易登録送信先: touroku@itos.jp

お問い合わせ
坂本ニュース販売
中津川市千手1460-28 TEL:0573-68-2248 FAX:0573-68-3332 Email:keho@sakamoto8ou-net.ne.jp
※メールを受信する際に若干のバケット通信料が発生し、ご契約の携帯電話会社へお支払の通信料に含まれます。

携帯メールで受信

■ミニコミ紙 「School Bus」

Saka-syou goll
School Bus
この度、坂本の皆様に学校の事をより良く知って頂くと思い、小学校、中学校の協力の基に、学校行事等を題材としたミニコミ紙を、私ども、坂本ニュース販売で発行することになりました
記念すべき第一回は入学式がテーマです。
坂本小学校入学式
輝け坂本の子!! 賢く・優しく・たくましく!
桜の花が少し咲き始めたこの季節。春の陽光の中坂本小学校の入学式が4月7日に行われました。会場となった体育館には、新一年生の入学を祝おうと、新一年生の親御さんと在校生のお兄さん、お姉さんでいっぱいでした。
入学式が始まり、入場してくる一年生。どの子も、新しい環境への期待を胸いっぱい詰めて、生き生きとした笑顔で元気よく入場してきました。今年、一年生の人数は男女合わせて...

創刊号
V
o
l
1
1

■学校報を製作

中津川市立坂本小学校より
羅漢（らんかん）
平成22年アサガオ号（夏休み直前号）
N O . 5
有意義な夏休みを目指して
～2日間短くても健康で安全な夏休み～
校長 杉浦 文昭
夏休みを目前にして連日の警報発令による臨時休業、保護者の皆様には大変なご苦労をお掛けしました。学校にとっても、1学期のまとめ、夏休みに向けての事前指導の時間が欠け、大きな痛手でした。
7月に入って全校の欠席者が10人を割る日が続き、子どもたちは概ね元気で、運動会に向けた応援の声やゴールからの歓声が響き、「この元気を保ちながら夏休み」と考えていたのに、出陣をくじかれた感じがします。
1学期の臨時休業が4日間にもなったことから、市教委と校長会とで協議し「子どもたちの学習を保障する」観点から、今年度限り、8月30日（月）と31日（火）の2日間を授業日とすることにしました。市内全小・中学校の夏休みが2日間短縮され、8月30日（月）が2学期の始業式になります。保護者の皆様、地域の皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。
さて、この1学期を振り返ってみますと、真先に思い浮かぶのが、
◎「全学年・全児童による挨拶活動」です。お陰様で学校外においても挨拶のできる子が増えました。（坂本小「3つの宝」のひとこと）
1学期のめあては「スタートダッシュをきかせて弾みをつけよう。頑張ることを決める。決めたらくじけず続けよう。担任の先生に本物になってきたなあを褒めてもらえるまで続けよう。」でした。親さんから見ると、お子さんは如何ですか？
○学校では、怒って爆発のできる子が増えました。（坂本小「3つの宝」の一つ）
○家庭では、きつと勉強時間が増えていることでしょうか？
（今年度から始めた「家庭学習取組表」、現在調査中です）
いよいよ21（水）から、8/29（日）まで、40日間（2日間短縮）の夏休みに入ります。子どもたちは、担任の先生の指導のもとで「楽しい夏休みのプラン」を立てているところですよ。どの子にも「夏休みは楽しかったなあ。頑張ったなあ。やり切ることができたなあ。」といった満足感・充実感を味わわせたいです。
夏休みは、学校ではできないこと、お陰様で、子どもたちを応援していたが...

7/7（水）、児童集会にて運動会の色決めを行いました。結果は右の表のとおりです。競技や演技の練習は各学期に入ってからですが、競技の準備を高め、意識を高める応援練習は既に始まっています。どの子も最初から団長さんを中心に、大きな声で一声の応援練習ができています。恥ずかしいが自分自身を思いっきり表現できるのは、坂本の子のよさだと思います。運動会は9/25（土）の予定です。お子さんの頑張りに、心からの声援を宜しくお願い申し上げます。

組
色
1組
2組
3組
4組
団長
副団長
応援
団員
組
色
1組
2組
3組
4組
団長
副団長
応援
団員

！坂小新一年生担任紹介！
名前 ①担当クラス ②前任校 ③出身地 ④趣味・特技
⑤坂本の印象は？ ⑥どんなクラスしたいですか？
本務担当 ①1年1組 ②南小学校 ③中津川市 ④特にありません ⑤素朴でエネルギーが豊富 ⑥一人一人が学級になってはならない存在としての、実感を持ち合えるクラスにしたいです。
本務担当 ①1年2組 ②南小学校③恵那郡川上村 ④旅行・映画鑑賞 ⑤地域が広いので遠くから来ている子がたくさんいてすごいなと思いました。⑥元気があって優しい1年2組の子供たち。自分を大切に、友達と仲良くできる子になってほしいです。
本務担当 ①1年3組 ②付知北小学校 ③福岡市 ④スキー ⑤元気が子供たちで、たのしい感じ。職員室も明るいムードで、よく話が出来た。⑥楽しくて、ためになる取り組みを創りながら、「かわり」の広がるクラスになるといいなと思っています。
本務担当 ①指導補助 ②坂本小が初めての赴任校 ③中津川市 ④水泳 ⑤自然が豊かで空気が良いです。 ⑥元気で、明るく、笑顔があふれる学年にしていきたいと思っています。
一年生歓迎会！
♪2年生による盛大なおもてなし♪
入学式のすぐ後に2年生による1年生の歓迎会が行われました。2年生の子達は小さな体をいっぱい使って、漢字の読みや、顔の絵が描くま...

ま
あ
い
の
お
兄
さん
、
お
姉
さん
の
演
新
一
年
生
の
、
真
剣
な
眼
差
し
み
ん
な
も
早
く
、
お
兄
さん
、
お
姉
さん
、
ま
な
こ
が
た
く
さ
ん
出
来
る
様
ん
ば
れ
♪
1
年
生
!!

校報
花の木
中
平成22年10月1日（金）
10月号
中津川市立坂本中学校
◇「体育大会」 各個人種目、各種リレー、学級対抗種目、応援合戦
多くの声援ありがとうございました！
天候にも恵まれ、9月18日（土）に、体育大会を開催することができました。保護者の皆様や地域の方々がたくさん応援いただき、温かい声援を添えていただきました。本当にありがとうございました。
今年度は、猛暑を耐えつらかった。例年より2日早く始まった2学期でしたが、まだまだ暑さ厳しい毎日でした。そんな中、毎日の練習では、水分補給の時間を確保しながら、応援リレーの指示のもと、素晴らしい練習ができました。当日の競技や応援で精一杯の姿を見ることができました。家庭でも体調管理へのご配慮ありがとうございました。
「応援合戦」では、練習で日々積み上げてきた成果を3分間にすべてを出し切ることができました。声の大きさの青、広がりのある赤、テンポのある白、文字の美しい紫とそれぞれの軍が、個性を生かした工夫が見られました。気迫と美しい統一感を生み出した応援合戦は、多くの参観者の皆様や他軍の生徒たちから歓声と拍手が湧き上がりました。例年にも増して、応援のリードが可なり、一体感と充実感を味わうことができた素晴らしい活動となりました。
また、個人種目のベスト記録が更新されたことや学級対抗の「大縄跳び」や「フライングG&B」でも多くの記録が更新されたことが、多くの学級で、それまでの記録を更新することができました。一人一人の集中力の高まりとともに、学級の団結力の高まりが結果として表れました。体育大会での成果をこれからの毎日の生活や11月の合戦に向けての練習に生かしていきたいです。

◇「教護支援ボランティア」ありがとうございました。
体育大会当日の健康安全対策としてお引き受けいただきました「教護支援ボランティア」の皆様には、終日テントに詰めていただき、本当にありがとうございました。競技で転倒して怪我をした生徒や暑さで体調を崩した生徒に対して素早い対応をしていただきました。生徒たちも安心して体育大会の各競技に臨むことができました。

◇市内一斉清掃に参加しました
1学期に行われた一斉清掃でも多くの生徒が参加しました。今日（9月22日・日曜日）も、1年生は35.7%、2年生は19.9%、3年生は52.9%と半数の生徒が地域で活躍することができました。坂本中学校で大きくなってきた「ボランティアの高」をさらに広げてほしいと思います。

10月の予定
【7月】
20（火）1学期終業式（給食有り）
下校（14:00）
21（水）水泳教室（9:00～11:00）
22（木）水泳教室（9:00～11:00）
【8月】
6（金）研修会のため、午後からは本のセンター・プレイルームは使用できません。お断りします。
22（日）PTA資源回収、環境整備作業
23（日）夏休み作品展・開校

目録
10月の行事予定
1 金 挨拶運動 生徒会選挙
2 土 保育園運動会
3 日
4 月
5 火 PTA本部役員会 全校研究会2-4
6 水
7 木 委員会
8 金 環境フェスタ（東美濃）
9 土 幼稚園運動会
10 日 体育の日
11 月 体育の日
12 火 実力テスト 衣替え完全実施
13 水 後期時間割開始
14 木 市教研公開授業 社会、理科
15 金 挨拶運動 英語検定
16 土 東濃駅伝
17 日 区民運動会
18 月
19 火 生徒会集
20 水
21 木
22 金 合唱練習開始 ジュニアオリンピック
23 土
24 日 職員会
25 月
26 火 授業参観週間
27 水 家族参観日 懇談会
28 木
29 金 菓子祭り（風流参加：東美濃）
30 土
31 日

発行協力 坂本ニュース販売 伊藤大樹

地域貢献賞

24

25

老人福祉施設に紙おむつ寄贈 ～紙おむつで、快適な入所生活を～

北國新聞北国会七尾鹿島支部

支部会員の寄付による 紙おむつを老人福祉施設へ寄贈

- 実施期間
2003年8月5日～年1回寄贈
- 実施地域
石川県七尾市、中能登町
- 活動概要

石川県七尾市、中能登町の北國新聞北国会七尾鹿島支部では、2003年から年1回、支部会員から募った寄付をもとに、七尾市と中能登町の老人福祉施設に高齢者が日常的に使用する「紙おむつ」を寄贈している。

快適な入所生活を過ごしてもらいたいという思いから寄贈を始めて8年、これまでに延べ82の老人福祉施設に2万枚を寄付している。

寄贈先からは感謝の手紙や施設内で発行している広報誌に掲載されるなどの反響があった。

*

北國新聞北国会七尾鹿島支部＝北國新聞系統の30販売所で組織。石端潤（いしばな・じゅん）支部長。

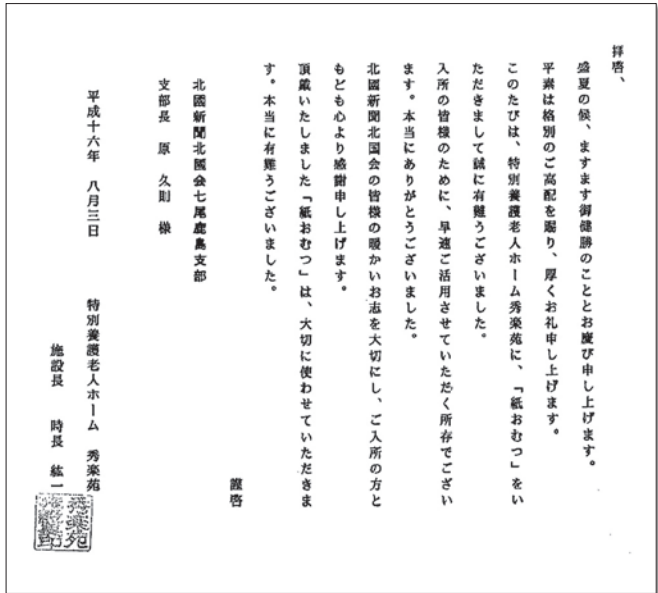
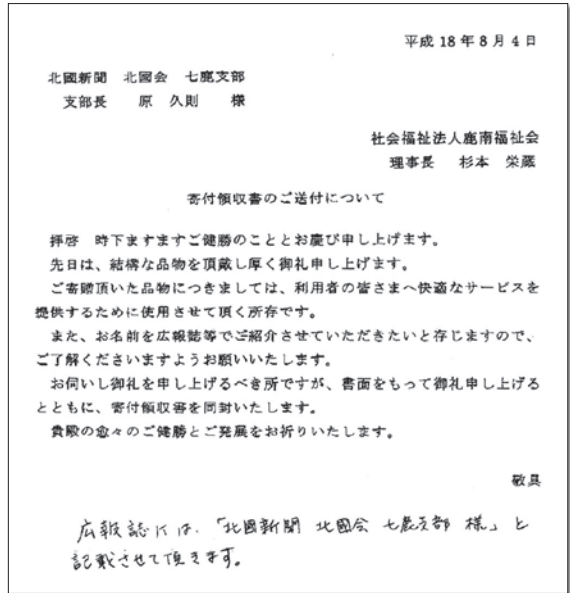


会員から入居者に直接、「紙おむつ」を手渡している光景

●紙おむつ寄贈先リスト

回	開催日	主な寄贈先	寄贈箇所	寄贈枚数
1	2003.8.7	七尾市津向町老人保健施設「和光苑」	9	2,500
2	2004.8.4	七尾市矢田町特別養護老人ホーム「あっとほーむ若葉」	9	2,500
3	2005.8.4	七尾市津向町特別養護老人ホーム「エレガントなぎの浦」	9	2,500
4	2006.8.4	七尾市中島町特別養護老人ホーム「秀楽苑」	11	2,500
5	2007.8.4	中能登町西馬場特別養護老人ホーム「鹿寿苑」	11	2,500
6	2008.8.4	七尾市千野町介護老人ホーム「千寿苑」	11	2,500
7	2009.8.4	七尾市中島町老人保健施設「寿老苑」	11	2,500
8	2010.8.4	七尾市津向町老人保健施設「和光苑」	11	2,500
合 計			82	20,000

■老人福祉施設からのお礼の手紙



■北國新聞掲載記事一覧

北國新聞朝刊紙面で掲載された記事です。北國新聞北国会七尾鹿島支部では、2003年より、七尾市と中能登町の高齢者福祉施設に対して、毎年2,500枚の「紙おむつ」を寄贈しています。



北國新聞 2009年8月5日付朝刊



北國新聞 2008年8月5日付朝刊



北國新聞 2005年8月5日付朝刊



北國新聞 2004年8月5日付朝刊



北國新聞 2007年8月5日付朝刊



北國新聞 2006年8月5日付朝刊



北國新聞 2003年8月8日付朝刊

ふれあい募金

福井新聞福井会

市民、従業員による善意の募金を 活字に親んでもらいたいと願い 視覚障害者福祉協会へ寄付

●実施期間

2007年4月～

●実施地域

福井県

●活動概要

福井新聞福井会では、2007年4月から新聞販売店主が中心となり、従業員や来店する市民からの善意の募金を福井県視覚障害者福祉協会に毎年10万円ずつ寄付している。

福祉協会では、寄付金を年4回の会報発行に役立て、主要な新聞記事を点訳・音訳して目の不自由な人に届けている。

活字文化の恩恵を受ける機会が限られている人たちに、少しでも多く触れ合える場をもってもらいたいと願い始めた活動は、今年で4年目となり、寄付先から感謝の言葉をいただいている。

*

福井新聞福井会＝福井新聞系統の87販売所で組織。
山岸寛士（やまぎし・ひろし）会長。

■「ふれあい募金」の協力呼び掛けに欠かせない募金の缶（上）とポスター（下）



福井県視覚障害者福祉協会の小山尊士会長（左）に「ふれあい募金」の浄財を手渡す福井会の山岸寛士会長（右）と水野実副会長＝2009年4月17日、福井光陽2丁目の同協会情報文化会館



福井新聞 2009年4月18日付朝刊



2010年5月19日付朝刊

